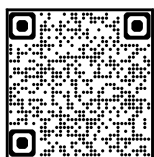


鳥海の子

HP
用
コード

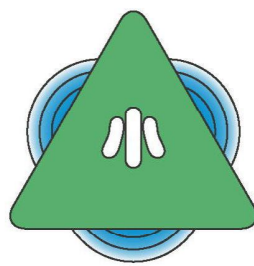


～明るく・かしこく・たくましく～

令和7年度 学校報 No.35 文責 校長 吉田 **

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和7年11月28日

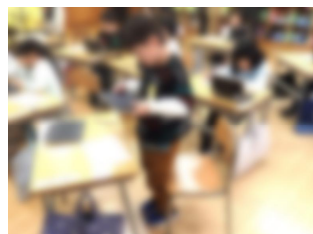
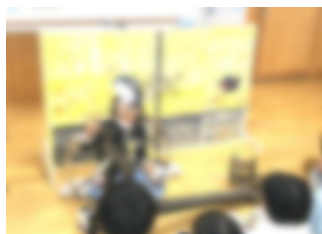
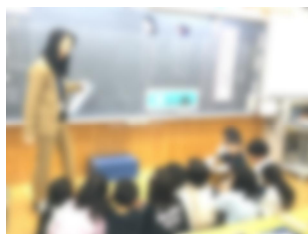
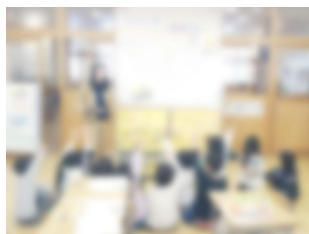


学習面でも“実り多き学び”を展開しています

1年「市教育委員会授業力向上訪問」がありました

先週の木曜日（20日）に、国語「たぬきの糸車」を学習している様子を市教育委員会の指導主事の先生に参観していただき、指導助言を賜りました。

写真にありますように、実際に使用されていた本物の糸車を借用し、担任の**先生が描いた背景となる絵を、校務員の**さんが造ってくださった木枠に貼り付け、教科書で説明されているような場面（環境）を整えて学習を進めました。臨場感あふれる場の設定により、子どもたちが行った「たぬき」と「おかみさん」の役割演技＝ロールプレイングにも熱が入っている様子が伝わってきました。また、前号でもお伝えしましたが、1年生からタブレット端末を授業の中で活用し、自分の考えや感想を友達に伝えるツールとして役立てたり、体育の授業では自分の演技を「動画撮影」して、技術の向上に役立てたりしています。指導主事の先生から、お褒めの言葉を頂戴しました。

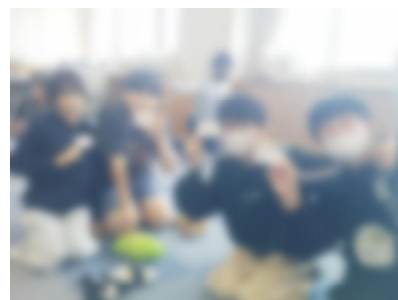


6年「救急救命講習」ポイントは冷静さと大声

先週木曜日（20日）に講習会を受け、最後に受講した証明書をいただきました。6年生は今年度すでに修学旅行時と夏休み明けに実施された市総合防災訓練時に心肺蘇生の仕方を学んでいましたので、この日が3回目の受講でした。一刻を争う命に関わる状況下では、いかに落ち着いて対処できるか、また自分一人にいる時や周囲に知っている人がいない時などに、いかに大きな声で助けを求めることができるかが、極めて大切に感じます。いざという時、即座に行動できる人でありたいですね。



矢島分署の消防士2名が講師



高学年「心の健康づくり教室」

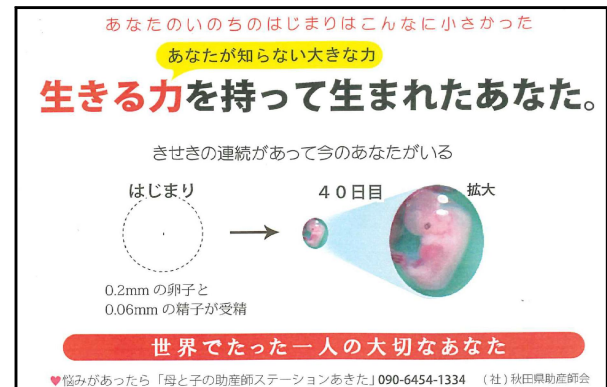
神秘的な出会い「命の誕生」について学び、「奇跡」「尊さ」「愛おしさ」「感謝」など、率直な言葉が子どもたち全員の感想の中に書かれていました。5年生と6年生から、代表して3名ずつ紹介いたします。



助産師のお二人が講師

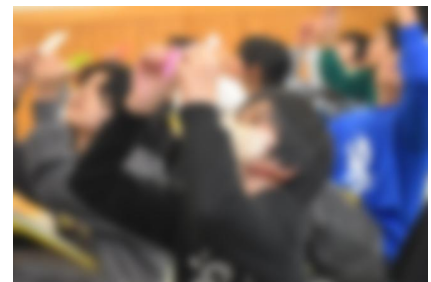
□私は、赤ちゃんが無事に産まれることがキセキで、250兆分の1だと分かりました。自分の命は一つだけで、自分の将来につながっているので、もっと命を大切にしたいです。それから、自分と一緒に母さんもがんばって無事に産んでくれたので感謝したいです。

□私は、待ち望まれて産まれてきた世界でたった一つの宝物だということが分かりました。嫌な時は、大人の人に相談することも大切だということも分かりました。私が大人になって妊娠した時は、今日のことを生かしたいです。



【↑卵子の大きさ0.2mmと同じ大きさの穴を開けた紙に光をあてて覗き込んでいます↓】

□赤ちゃんは、250兆分の1で産まれてくことにびっくりしました。赤ちゃんがお母さんのあんなに細いところから産まれてくるのは、お母さんも赤ちゃんもとても大変そうだったし、赤ちゃんが10ヵ月マラソンを走っているという苦しさを感知していることを初めて知りました。命がけで産んでくれたお母さんにも感謝したいし、がんばった自分にも感謝したいです。



◇私は今日の教室で、命の大切さや命の誕生について学びました。おなかの中の赤ちゃんは、受精卵から2,000倍くらいまで育つため、お母さんは10kgもあるものをずっと持って生活していた大変さが分かったので、お母さんへの感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

◇僕は、心の健康づくり教室を通して、僕たちは世界に一つだけの大切な命なんだということを学びました。僕を産んでくれたお母さんに感謝の気持ちを伝えたいと思いました。

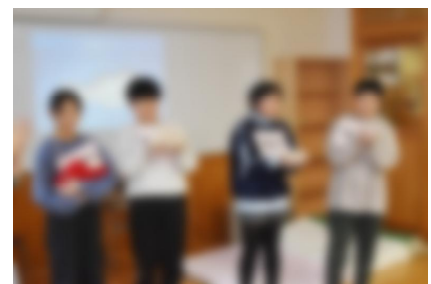
◇産まれるときにお母さんががんばっているのは知っていたけど、産まれてくる方も10ヵ月間マラソンをしているようなものということが分かりました。15～16時間かけて赤ちゃんを産むのは、見ている周りの人たちも緊張するし、もし「オギャー」と泣かなければ死んでしまうかもしれないという不安や焦りの気持ちになることも分かりました。10ヵ月間、約10kgのものをずっと生活するのは大変なことだということも学びました。



【妊婦さんはしゃがむのも一苦労】



【何時間もかけてこの世に誕生】



【お腹の中でこのように成長】